

協立病院の理念

人権と人格を尊重した、
こころとからだの総合診
療とケアを実践する

協立病院だよ

No.81 2021年1・2月号
発行：みさと協立病院

〒341-0016 埼玉県三郷市田中新田273-1
TEL 048 (959) 1811/FAX 048 (959) 1819
<http://www.tokyo-kinikai.com/misato/>

新年おめでとうございます
本年もよろしくお願ひいたします

みきと協立病院は「
域のかかりつけ病院に
ろう」を合言葉に、地
活動の三本柱は「在宅
「精神」「透析」です。
「在宅」分野では訪
診療を拡大しており、一
在では精神科と内科を
わせて管理患者100名
を超みました。在宅療
支援病院となり、連携
する診療所と定期的に
要なのが訪問看護
テーションとの連携で
宅生活を支える上で
「訪問看護ステーション」

重ねています。私たち療從事者も感染対策を努め、緊張した日々が送っています。新しいのが少しでもコロナの脅威が緩和され、みなさま笑顔が増える年となりますことを職員一同願っています。

新型コロナウイルス
染症が世界中で猛威
ふるい、誰もが今まで
つたことのない経験

稻田」とは、今までかなり
シナフアレンスや学習会など
で連携をすすめてき
ましたが、
2月9日付

なりました。職員を増員し、安心・安全な透析医療の提供を行っています

併せて、より良い関係を築いていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、失業率上昇など貧困と格差はより深刻さを増しています。私たちは、対話を基盤とし、困ったときに相談できる病院としては存在感を發揮し、年をとっても障害があつても安心して住み続けられるまちづくりに貢献することをめざします。ご協力をお願いいたします

みさと協立病院職員一同

精神科医が入り、安心して入院生活を送れるよう、「…」とからだ」両面から支援しています。

「透析」分野では、2019年に透析室拡大を行い、外来と入院でより多くの患者さんを受け入れられるようになります。

新年あいましておめでとうございます

このたび訪問看護ステーション早稲田は、みさと協立病院内に事業所を移転して訪問活動を行うこととなりました。

平成12年に早稲田2丁目のビルの一室に包括支援センター
早稲田と同時期に開設してから、早稲田3丁目、早稲田7丁
目と移転し、この度協立病院内に移転となりました。包括支
援センターはそのまま早稲田7丁目に残ります。

当事業所の利用者様の約半数の方がみさと協立病院から指示を受けています。今回移転したことにより、今までの地域の方々との連携に加え、みさと協立病院との連携をより強固に行うことが可能になりました。これからも皆様により一層愛される、また地域に必要とされる訪問看護ステーションを所長以下、スタッフ一同で皆様とともに作り上げていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

現在看護師5名、作業療法士1名の常勤と5名の非常勤職員で活動しています。
現在、一緒に働いてくださる看護師さん募集中です。経験は問いません。お待ちしています。



訪問看護ステーション早稲田

